学校番号	３００４

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自己の作品を通じて客観的視点を養うことができる。
・美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	身近なものを描く	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・人物クロッキー ・基本形体の基礎 ・靴のデッサン 基本的な形の描き方を理解したうえで、観察する。 構図を考えて対象が持つ美しさが引き立つ構図やバランスなど造形的な視点を大切にしながら決定する。 相互鑑賞を行い、意見交換を参考に自分の作品を見つめなおして主題を明確にしていく。 ・相互鑑賞 お互いの完成作品を振り返りシートを元に鑑賞し作者の心情や表現の工夫を共有する。	○ ○	 ○	 ○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、対象をよく観察し表現している。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	ワークシート スケッチ 学習活動の様子 制作の様子 作品 振り返りシート
	図形を用いた色彩構成	【デザイン】 ・色彩基礎 ・色彩構成 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 配色カードを用いて明度・彩度・配色を考える。構成等を工夫し表現する。	○ ○	○ ○	○ ○		a:図形を使って、画面全体のバランスやよい構成を形や色彩などの働きを考えながら、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品 振り返りシート

	立体模写彫刻	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・デッサン ・制作 石粉粘土で成形し、乾燥後削るなどして細部を作る。 アクリル絵の具で着彩する。 ・相互鑑賞	 ○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	 ○ ○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:粘土やアクリル絵の具、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	デッサン アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞 作品 振り返りシート
	ショッピングバッグデザイン	【デザイン】【鑑賞】 ・紙袋の鑑賞 ・アイデアスケッチ グループごとに目的やテーマを決める。 テーマに沿ったデザインを各自で考える。 ・アイデアスケッチの相互鑑賞(班単位) ・制作 アクリル絵の具、スタンプ等を用いて、制作を行う。 ・相互鑑賞 ・プレゼンテーション(全体)	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞 作品 振り返りシート

	オカリナ制作	【絵画・彫刻】【デザイン】 【鑑賞】 ・オカリナとは ・制作 陶芸土で成形する。 焼成後、アクリル絵具で着彩する。 ・相互鑑賞	○ ○ ○	○	○ ○	○	a:楽器の形が持つ機能美やデザインの美しさを感じ取ろうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:陶芸土やアクリル絵具、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 振り返りシート 鑑賞 作品
2学期	写真を用いたアニメ表現	【映像メディア表現】 【鑑賞】 ・アピールしたいテーマごとにグループになり、アイデアスケッチ（絵コンテ）を作成する。 ・班で協力してカメラで撮影をする。 ・コンピュータで編集を行う。 ・相互鑑賞 プレゼンテーション	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○	a:目的を基に写真やコンピュータなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:映像メディアの特性を踏まえ、目的を基に主題を生成し、視点や動きなど視覚的要素を工夫して表現の構想を練っている。 c:カメラやコンピュータ、プロジェクターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。 d:映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。	制作の様子 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 振り返りシート 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

3学期	抽象彫刻制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・主題を基にかたちを決める。 ・構想を基に自分の表現意図に合う展示を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○	a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。